

PTB第4回評価調査の実施について

2010年10月

一般社団法人パチンコ・トラスティ・ボード

PTB評価委員会

社員会社およびスケジュール

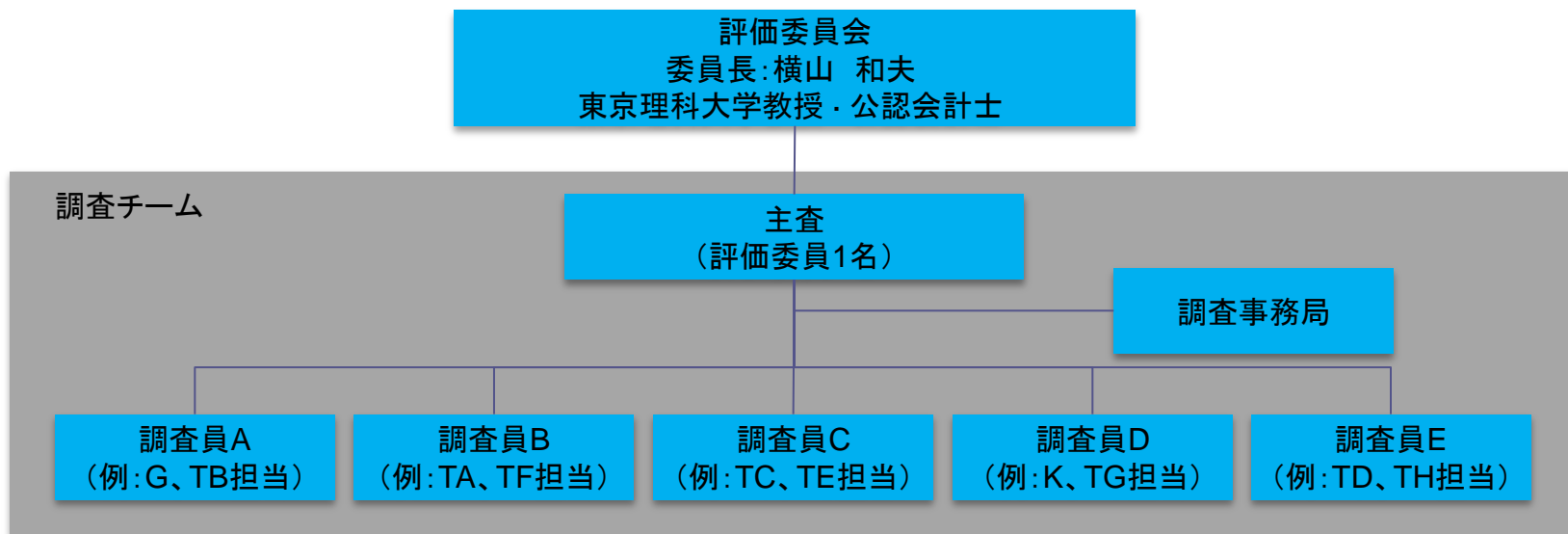
社員会社	スケジュール	調査履歴			
		第1回	第2回	第3回	第4回
(株)ダイナム	2010年12月	○	○	○	○
夢コーポレーション(株)	2011年05月	○	—	—	○
(株)ニラク	2010年11月	○	○	○	○
(株)TRY&TRUST	—	○	—	—	—
(株)アメニティーズ	2010年10月				○ 新規

※ (株)アメニティーズは、今回から新規参加。

※ 夢コーポレーション(株)は、第2回および第3回は休会中により調査を実施せず。

※ (株)TRY&TRUSTは、第2回以降、休会中により調査を実施せず。

第4回評価調査体制



対象会社	主査	調査員
(株)ダイナム	永沢 徹 委員 弁護士(永沢総合法律事務所)	<ul style="list-style-type: none"> 内田 哲也 弁護士(八丁堀法律事務所) 佐藤 彰紘 弁護士(佐藤総合法律事務所) 棚橋 栄蔵 弁護士(棚橋・小澤法律事務所) 小鍛冶 広道 弁護士(第一芙蓉法律事務所) 小川 明 公認会計士(新橋監査法人代表社員) 小林 英 公認会計士(小林英公認会計士事務所) 笹山 勝則 公認会計士(あらた監査法人代表社員) 大藪 卓也 公認会計士(大藪公認会計士事務所) 植草 茂樹 公認会計士(新日本有限責任監査法人) 永井 秀輔 公認会計士(新日本有限責任監査法人) 井出 博之 (新日本有限責任監査法人)
夢コーポレーション(株)	田宮 治雄 委員 東京国際大学商学部教授・ 公認会計士	
(株)ニラク	末川 修 委員 公認会計士(末川修公認会計士・税理士 事務所)	
(株)アメニティーズ	山中 健児 委員 弁護士(石寄信憲法律事務所)	

(株)TRY&TRUSTは休会中

第3回評価調査からの変更点

■ 評価基準の追加・変更

第3回評価調査から変更のあった評価基準は、以下の通りです、第3回調査から2年を経過しており、経済環境の変化等によるリスクや統制水準に変更のあった項目について、必要に応じて見直しを実施しました。

分類	目的	種類	変更理由・内容
財務	TB2(決算)、TB9(売上管理)	変更	上場企業におけるJ-SOX対応の浸透に伴い基準を厳格化
社会的要請	TD2(営業対策) TD5(騒音)	変更	騒音への対応基準を厳格化すべく見直しを実施
労働法	TG19(安全衛生管理)	変更	騒音への対応基準を厳格化すべく見直しを実施
風適法	TF6(適正な景品交換)	変更	過去の調査経験からより実態に合わせた基準に変更
社会的要請	新規: TD13(のめり込み問題)	追加	業界固有の問題への対応として新規追加
主要法令	新規: TE8(環境・省エネ対策)	追加	省エネ法改正等を勘案して新規追加

具体的な基準の追加・変更内容①

番号	分類	目的	調査項目	追加・変更内容
TB2	財務	決算の迅速化・正確性確保について	決算の迅速化とその正確性を確保するため、必要な施策はとられているか。	上場企業におけるJ-SOX対応が浸透してきた状況を勘案し、基準のレベル感について以下のように見直しを行う。パチンコホール企業は全て未上場であることから、J-SOX対応は必須でないため、実質的な基準のみ反映した。
TB9	財務	売上管理	売上の管理に伴う内部統制が整備されているか。	同上。
TD2	社会的要請	過大な営業対策の防止	顧客の射幸心をあおる営業の抑制について会社として対応を図っているか。	店内の騒音に関する対応として、TD2、TD5、TG19についての見直しを実施した。 TD2では、必要以上の店内放送や音楽も射幸心をあおる営業行為の一環と捉えて、全体的に見直しを実施した。
TD5	社会的要請	地域社会への配慮②(騒音)	二重ドアや防音機能の付いた換気システム等、地域環境に配慮した店舗運営を実践しているか。	店内の騒音に関する対応として、TD2、TD5、TG19についての見直しを実施した。 TD5では、「信頼の森」のように店舗内の音自体を抑えようとするパチンコホール店も出現してきたことから、全体的に水準の見直しを実施した。
TG19	労働法	安全衛生管理	労働安全衛生法に則って、衛生委員会を設置し、職場における安全衛生上の問題点が改善されているか。	店内の騒音に関する対応として、TD2、TD5、TG19についての見直しを実施した。 TG19では、従来は安全衛生管理の「体制」に重点が置かれていたものの、当該体制下において、騒音への対応を含む具体的な課題対応までを求めた基準に見直しを実施した。

具体的な基準の追加・変更内容②

番号	分類	目的	調査項目	追加・変更内容
TF6	風適法	適正な景品交換の仕組み	景品交換を適正に行う仕組みを構築しているか。	現在の基準は、実態と著しく乖離した部分があるため、実際の現場における規制に基づき、評価基準を修正する。
(新規) TD13	社会的要請	過度なのもり込み問題対策	顧客の遊技への過度なのもり込みを予防、または改善するための対策に取り組んでいるか。	顧客の遊技への過度なのもり込みについて、課題を網羅的に整理して継続的な取り組みを行っていることに焦点をあてて、新規に基準を追加した。
(新規) TE8	主要法令	環境・省エネ対策	環境規制等を含む環境問題への対応に積極的に取り組んでいるか。	省エネ法改正など、企業における環境への対応が重要度を増してきていること、新規に基準を追加した。廃棄物処理法への対応は、従来通りTE2で評価することとし、本項目では、個々の法令への対応ではなく、より全体的な環境問題への対応に焦点をあてて基準を設定した。

(参考)PTB評価基準(112項目)

番号	目的
ガバナンス	
G1	株主総会の開催・運営
G2	株主管理
G3	株主とのコミュニケーション
G4	株主配当に関する決定プロセス
G5	取締役会の開催・運営
G6	社外取締役
G7	役員報酬の決定プロセスの適切性
G8	取締役の利益相反行為
G9	取締役を除く関連当事者との取引
G10	グループ管理体制
G11	監査役監査計画
G12	監査役による取締役会等に対する業務監査
G13	監査役と関係機関の連携
G14	社外監査役
基本的姿勢	
K1	コンプライアンスに関する経営者の取組姿勢
K2	行動規範の策定と適切な運用態勢の確立
K3	リスク評価の仕組み
K4	重要なリスクへの対応
K5	経営者姿勢の開示及び利害関係者との良好な関係
K6	企業情報の開示ルール
K7	懲罰規程の整備・運用
態勢構築(フレーム)	
TA1	運営組織の明確化
TA2	職務権限・分掌規程の明確化
TA3	全社的なコンプライアンス体制
TA4	コンプライアンス推進部署(担当者)
TA5	内部通報制度
TA6	コンプライアンス教育制度
TA7	コンプライアンスのセルフチェックの仕組み
TA8	外部からの報告相談制度
TA9	緊急事態への対応
TA10	人事評価制度
TA11	給与・報酬の決定基準
TA12	採用基準
TA13	業務改善等に関する提案制度
TA14	キャリアパス制度
TA15	人員配置
TA16	ITガバナンス体制構築
TA17	情報セキュリティ管理態勢の構築

番号	目的
態勢構築(財務プロセス)	
TB1	予算管理制度の整備・運用について
TB2	決算の迅速化・正確性確保について
TB3	会計記録の正確性確保について
TB4	決算実施、開示書類作成のための体制について
TB5	会計と税務の乖離の適正な把握、税務申告の適正性
TB6	会計処理方法の変更について
TB7	景品の在庫管理
TB8	玉数(あるいは枚数)の払出し数量管理
TB9	売上管理
TB10	遊技機の購入
TB11	納入業者の選定
TB12	納入業者の見直し
TB13	資金調達手続
態勢構築(反社会)	
TC1	特殊株主の排除
TC2	取引業者選定における反社会的勢力等の排除
TC3	反社会的勢力等との不適切な取引関係の排除
TC4	反社会的勢力に対する危機管理対応
TC5	危機管理対応に関する教育研修対応
TC6	ロム改造への対応
TC7	遊技機に対する不正への対応
態勢構築(社会的要請)	
TD1	射幸性の抑制
TD2	過大な営業対策の防止
TD3	広告におけるガイドライン
TD4	地域社会への配慮①(ネオン、看板等)
TD5	地域社会への配慮②(騒音)
TD6	地域社会への配慮③(臭気等)
TD7	地域社会への配慮④(交通安全)
TD8	駐車場・駐輪場内における安全
TD9	遊技環境(安全の確保)の整備
TD10	遊技環境(お客様への積極的対応)の整備
TD11	タバコの喫煙対策
TD12	地域社会との交流
TD13	パチンコ・パチスロへの過度なめり込み問題対策
態勢構築(法令順守体制)	
TE1	個人情報保護法への対応
TE2	廃棄物に関する対応方法
TE3	独占禁止法に関する対応方法
TE4	不正競争防止法への対応方法
TE5	知的財産法への対応方法
TE6	消防法への対応方法
TE7	食品安全への対応方法
TE8	環境・省エネ対策

番号	目的
態勢構築(法令順守体制)	
TF1	風適法の遵守態勢
TF2	遊技機の設置・変更に関する届出
TF3	営業所の設備等の変更に関する届出
TF4	18歳未満の者への対応
TF5	適正な景品の提供
TF6	適正な景品交換の仕組み
態勢構築(法令順守体制)	
TG1	男女の均等な雇用機会に関する制度
TG2	雇用契約の条件明示の適切性
TG3	労基法107条に定める重要書類の保管状況
TG4	賃金控除に関する適法性
TG5	賞金全額払い
TG6	労働時間管理
TG7	就業規則等の周知
TG8	就業規則等の変更手続
TG9	退職・解雇手続
TG10	割増賃金の支払い
TG11	深夜割増手当(管理職)
TG12	労働時間管理の適法性
TG13	休憩時間の確保
TG14	休日の確保
TG15	36協定の遵守
TG16	年次有給休暇の確保
TG17	家庭責任に対する休業の確保
TG18	健康診断の実施
TG19	安全衛生管理体制の構築
TG20	法定福利費の支払と福利厚生との取り組み
TG21	セクハラ等の防止
TG22	障害者の雇用・活用
内部監査	
TH1	内部監査体制の構築
TH2	内部監査計画の適切性
TH3	内部監査部門による監査業務の遂行
TH4	監査結果の報告
TH5	内部監査の効用

(参考)過去の調査結果

- PTBの評価は、各評価項目についての5段階の評価結果を分類毎に平均し、「AAA」からの8段階で格付を決定しています。過去の評価調査における調査対象会社の各分類の平均格付は、以下のとおりです。

評価対象分類	評価項目数	第1回調査結果 (7社)	第2回調査結果 (5社)	第3回調査結果 (4社)
ガバナンス体制	14	A	A	AA
経営者による基本的姿勢	7	BB	A	A
基本的フレームワーク	17	BB	A	A
財務管理体制	13	A	A	AA
反社会的勢力への対応	7	A	AA	AAA
社会的要請への対応	12	BB	A	AA
法令遵守体制(重要法規)	7	BB	A	A
法令遵守体制(風適法)	6	BB	A	AAA
法令遵守体制(労働法)	22	BB	A	A
内部監査体制	5	A	A	A

【参考】格付符号の定義

格付符号	格付の定義
AAA	AAに加えて、周囲の環境変化をダイナミックに反映し、常に改善を図った結果、他社の模範となるべきレベルに達している。
AA	経営層の指示と承認のもとに方針やルールを定め、全社的に周知・実施しており、かつ責任者による状況の定期的確認を行っている。
A	経営層の承認のもとに方針やルールを定め、全社的に周知を行っている。
BB	経営層に経営管理に対する意識があり、方針やルールの整備、周知を図りつつある。
B	経営層に経営管理に対する意識があり、形式的な要件を充足しようとしている。
C	経営管理を行いたいという経営者の意識がみえる。
D	経営管理について、経営層における意識もなく、ほとんど取り組みを行っていない。
—	評価不能 評価不適格／評価できない。

※評価忌避があった場合には即刻、「—」とする。

PTBの基本情報

- 1.名称： 一般社団法人パチンコ・トラスティ・ボード
- 2.所在地： 東京都中央区銀座一丁目14番4号 プレリー銀座ビル5階
- 3.目的： 本会は、パチンコホール経営企業が、業務の適正化・健全化を図ることによって、広く社会からの信頼を得ることを目的として、社員相互に協力する会であり、その目的に資するため、次に掲げる事業を行う。
 - (1) パチンコホール経営企業その他遊技業界関係者以外の第三者によって評価委員会を設け、パチンコホール経営におけるコンプライアンス及びコーポレートガバナンスを第三者の立場から厳格に評価し、もって社員が広く社会に発展していくことを促し、かつ、社員が株式会社である場合には、その株式公開の実現を支援する事業。
 - (2) 有識者懇談会を設け、パチンコホール経営企業その他遊技業界が広く社会からの信頼を得るために必要な提案を広く社会に発表し、もって遊技業界の改善・改革を促す事業。
 - (3) 前各号に掲げる事業に付帯又は関連する事業
- 4.基金総額： 4,100万円
- 5.社員企業： 株式会社ダイナム、夢コーポレーション株式会社、株式会社ニラク、株式会社TRY & TRUST、株式会社アメニティーズ
- 6.理事・監事： 代表理事 佐藤公平
(事務局)理事 丸山正博
監事 中島基之

本件に関する問い合わせ先

一般社団法人パチンコ・トラスティ・ボード

〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-4 プレリー銀座ビル5F

TEL: 03-3538-0091

FAX: 03-3538-0094

URL: <http://www.ptb.or.jp>

E-mail: info@ptb.or.jp

担当: 事務局 丸山正博、渡辺淳